

## 都道府県への追加ヒアリング結果概要

## 1. ヒアリングの背景と目的

「令和 4 年ニホンジカ・イノシシ・アライグマに係る保護管理検討調査等業務」において、都道府県を対象に、「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」における半減目標についてアンケートを実施した。アンケート結果から得られた傾向として、「個体数や密度に関する目標を設定している」と回答した都道府県は8割以上と高い割合だった一方で、実行部分である捕獲やその人材確保・育成に関しては課題がみられた（図1、図2）。

このような状況についてより詳細に把握し、課題解決の方法を検討するため、追加のヒアリング調査を実施した。本資料では、このうち、年度別実施計画と捕獲目標頭数の配分に關するヒアリング結果の概要を示した。

質問内容：生息数（密度）に関する目標を設定した場合、その達成に向けて行った工夫についてお答えください。

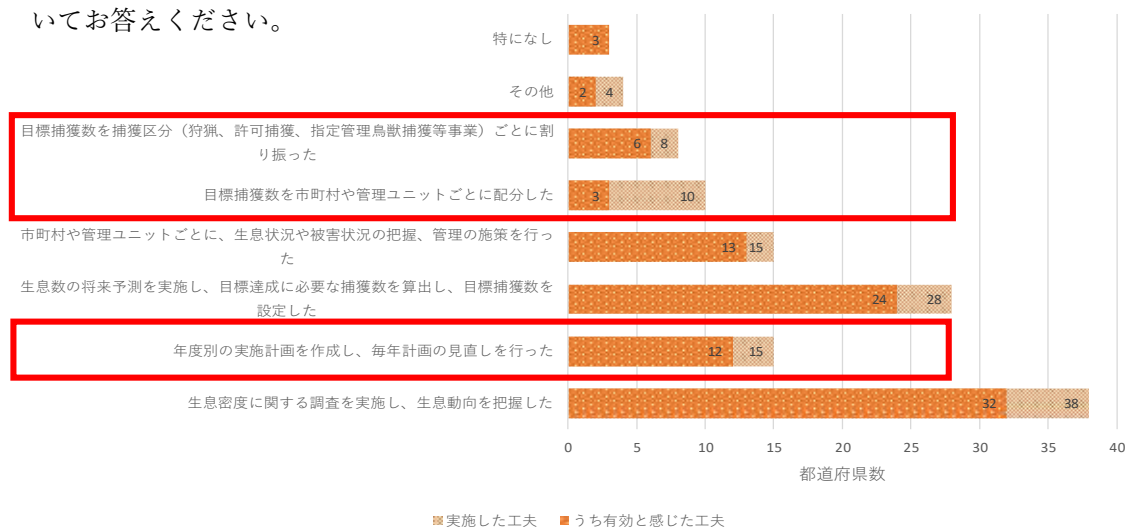


図1 個体数や密度に関する目標達成に向けた工夫とその効果

質問内容：生息数（密度）に関する目標を設定した場合、活用した国の制度（交付金）をお答えください。

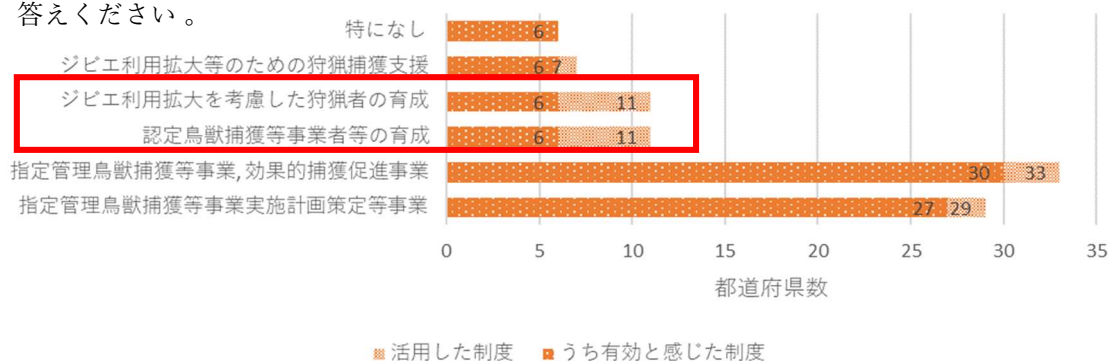


図2 個体数や密度に関する目標達成に向けて活用した国の制度とその効果

## 2. 年度別実施計画に関するヒアリング結果概要

### (1) 年度別実施計画を作成することになった経緯や目的

|     |                                                                                                                    |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道 | 有識者会議の中で、科学的根拠を持って生息数の増減の状況を踏まえて捕獲数を設定すべき、また、エリアごとに条件を変えて設定すべきという意見に合わせ、個体数指数を算出して目標を定める必要が出たことから、実施計画を策定することとなった。 |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### (2) 年度別実施計画に記載した主な内容

|     |                                                                                                                                                                               |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道 | 捕獲が主な内容。                                                                                                                                                                      |
| 東京都 | 捕獲に関する内容のほか、関連部署の防除対策や成果も取りまとめている。<br>前年度の取組結果と、当年度の実施内容という構成となっている。<br>捕獲に関しては、管理捕獲、狩猟、指定管理事業の目標捕獲数を設定している。<br>加えて、シカ柵の設置、モニタリングの実施について今年度の項目を示している。<br>他部局が実施している内容も記載している。 |
| 長野県 | 管理計画では、市町村が年次計画を策定し、計画を実施することとしている。<br>毎年、市町村に県が定めた様式（A4 版 2 枚、月ごとの捕獲目標数、被害防除対策や生息環境管理の内容も含む）への記載を依頼し、県で集約している。<br>捕獲目標数は、許可捕獲（個体数調整）の目標数のみ。<br>特措法に基づく被害防止計画とは区別。            |
| 山口県 | 当年度捕獲目標頭数（指定管理鳥獣捕獲等事業、有害鳥獣捕獲、狩猟）を記載。<br>被害防除対策や生息環境管理は、部署が異なるため計画には含まれていない。                                                                                                   |
| 徳島県 | 実施計画には年間捕獲目標を記載している。                                                                                                                                                          |

### (3) 年度別実施計画を運用しての効果

|     |                                                                                                                                                |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東京都 | 目標や取り組み内容が関係者で共有できるほか、とりまとめの段階で有識者からの意見も得られやすく、科学的知見を踏まえた計画にできる。                                                                               |
| 山口県 | 実施計画を作成することにより、生息数の将来予測や検討会委員の意見を踏まえた上で必要な捕獲数を検討することができた。<br>捕獲を実施している猟友会と学識経験者が委員となっているため、実施計画を委員の意見を踏まえて検討することによって、必要な捕獲数を科学的に検討できたことが有効だった。 |
| 徳島県 | 実施計画は施策を具体化し説明可能にするために必要なものという位置づけで必要性を感じている。                                                                                                  |

### 3. 目標捕獲頭数の配分に関するヒアリング結果

#### (1) 目標捕獲頭数の配分方法

|     |                                                                                                                        |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道 | 捕獲数を増加させる必要がある中で、市町村にも捕獲数を割り振る案が検討された。<br>実績でこれまでの最高捕獲頭数に増やしたい割合を乗じて、市町村ごとに目標を設定した。                                    |
| 東京都 | 生息密度や被害状況を参考にしつつ、市町村の実施可能性を踏まえて配分を調整している。                                                                              |
| 長野県 | 市町村に対して、県が市町村ごとに捕獲目標数を参考指標として毎年示し、市町村ではこの参考指標を参考にしながら、目標捕獲数を設定し、年次計画を作成している。<br>個体数推定は市町村別に実施しているため、目標捕獲数も市町村単位で算出される。 |
| 山口県 | 認定鳥獣捕獲等事業者に地区ごとの捕獲計画を提出させた。<br>また、メッシュ別生息密度や、過去の実績を参考にしている。                                                            |
| 徳島県 | 生息密度の濃淡や被害状況を参考に目標捕獲頭数を配分しており、主には生息密度である。<br>県から必要な頭数を示したうえで、ワーキング会議で協議して決めている。                                        |

#### (2) 目標捕獲頭数を配分したことによる効果

|     |                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------|
| 北海道 | 市町村ごとに捕獲目標を示すことで、市町村もそれに向けて対応してくれた。                                  |
| 東京都 | 市町村ごとに具体的に数字を示すことができ、市町村がそれぞれの目標に向かって行けるようになった。                      |
| 長野県 | 県内では管理ユニットで対策を進めているところであり、目標捕獲数の設定はより地域を限定した対策の議論が可能となるため、有効と認識している。 |
| 山口県 | 事業実施前に捕獲事業者が各地区で捕獲目標数を定めることにより、各地域の捕獲能力に応じた効率的な捕獲を行うことができた。          |